

数学「数学Ⅰ」単元の評価規準

内容のまとめり	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
数と式	式の計算	・ 中学までの計算に加え、2次の乗法公式や因数分解の公式を適切に用いて計算をすることができる。 ・ 文字に着目し整理したり、置き換えを行い、複雑な式の計算ができる。	・ 問題を解決する際に、既に学習した知識と関連付けて適切に対応することができる。 ・ 式を見通しをもって取り扱うことができる。	・ 事象を数と式の考えを用いて考察する良さを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、数学的論拠に基づき判断しようとしている。 ・ 粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしている。 ・ 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、改善したりしようとしている。
	実数	・ 数の世界を整理し直し、分類できる。 ・ 根号を含む式の計算について復習し、分母の有理化ができる。	・ 数を拡張してきた過程を考察することができる。 ・ 簡単な無理数を含んだ式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすることができる。	
	方程式と不等式	・ 1次方程式を解くことができる。 ・ 不等号の意味の理解と不等式の解法ができる。 ・ 2次方程式のいろいろな解法ができる。	・ 1次方程式を解く方法や不等式の性質を基に1次不等式を解く方法を考察することができる。 ・ 日常の事象などを数学的に捉え、方程式と不等式を利用して解決できる。	
2次関数	2次関数とそのグラフ	・ 1次関数と2次関数のグラフの特徴を捉えグラフをかくことができる。 ・ 与えれた条件により、それを満たす2次関数を求めることができる。	・ 2次関数の係数の変化とグラフ形状の関係について考察することができる。	・ 事象を2次関数の考えを用いて考察する良さを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしている。 ・ 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり改善したりしようとしている。
	2次関数の値の変化	・ 2次関数のグラフを利用して、最大値・最小値を求めることができる。 ・ グラフと関連付けて2次方程式と2次不等式が解くことができる。	・ 2つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え問題を解決することができる。	
三角比	鋭角の三角比	・ 鋭角の三角比の意味を理解し、三角比を利用して辺の長さや角度を求めることができる。	・ 図形の構成要素間の関係を三角比を用いて表現し、定理や公式の意味を理解することができる。	・ 事象を三角比の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・ 三角比やそれに関わる定理や公式を活用した問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、改善したりしようとしている。
	三角比の応用	・ 三角比の角度を鈍角まで拡張する意義を理解してる。 ・ 正弦定理等の公式を利用し、辺の長さや角度及び面積を求めることができる。	・ 図形の構成要素間の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題の解決にあたることができる。	
集合と論証	集合と論証	・ ものの集まりについて、その表し方、用語、記号を正しく使うことができる。 ・ ことがらが、正しいか正しくないかを調べる方法や用語を学び判断することができる。	・ 命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形し真偽の判断ができる。	・ 事象を集合と論証の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしている。 ・ 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、改善したりしようとしている。
データの分析	データの分析	・ 分散、標準偏差、散布図及び相関係数の意味やその用い方を理解し、正しく値を求めることができる。 ・ 計算ソフトを利用してデータを整理したり、分散や相関係数などの基本的な値を求めることができる。	・ データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察することができる。 ・ 複数の種類のデータを数値化することにより、そのデータの比較を行い特徴を捉えることができる	・ 事象をデータの分析の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしている。 ・ 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、改善したりしようとしている。